

6月の野菜の見通し

令和4年5月31日現在
山形県東京事務所

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	平年比 見込	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量※ (t)	前年 占有率 (%)	
だいこん	6,002	少ない	7,124	108	102%	101	0	0.0%	上旬は千葉・茨城産が終盤で減少するため引き合いが強まる見込み。中旬になると北海道・青森産が安定出荷となり反落予想。青森産の生育は問題なし。全体の予想入荷量は少なかった前年を上回るも平年をやや下回る。見通し単価は前年並みで平年を1割近く上回る。
キャベツ	16,917	並み	16,008	90	93%	84	0	0.0%	上旬は千葉産中心の出回りの中、茨城産で5月に出遅れていた分が増量して数量潤沢なことから相場は弱まる気配。群馬産も出始める。各地生育は順調で、予想入荷量は前年比微増の平年並み。見通し単価は前年をやや下回るも平年並み。
ねぎ	3,769	並み	3,781	419	106%	403	4	0.0%	茨城産の夏ねぎが出荷ピークとなる。千葉産も含め生育は順調。天候よければ十分な出回りで相場は軟調となる気配だが、梅雨で収穫できないと数量減で相場上昇。予想入荷量はやや少なかった前年を上回り平年並み。見通し単価は前年を上回り平年並み。
きゅうり	7,715	並み	7,328	282	105%	270	186	2.4%	関東中心の出回りだが盛期を過ぎて減少してくる。増量となる東北産は生育順調。梅雨入り後は全体量減に伴い相場上昇の気配。予想入荷量は前年・平年並み。見通し単価は前年・平年をやや上回る。
トマト	8,345	並み	8,630	272	100%	279	137	1.6%	熊本産は病害の影響で切り上がり早めか。関東産は盛期となり、北海道産が出始めるが中下旬は全体量引き締まり相場堅調の気配。予想入荷量は少なかった前年並み～微減で平年を下回る。見通し単価は高かった前年並みで平年をやや上回る。

引用資料:「東京都中央卸売市場における野菜の品目別取扱実績」(青果物情報センター)、「野菜の生育状況及び価格見通し」(農林水産省)、「野菜の入荷・市況見通しについて」(東京青果㈱)

入荷量について:平年並とは、平年との比率が80%以上、120%未満であることを示す。「0」はラウンドして1tに満たない入荷があったもの。「-」は本県のデータがないもの(入荷がないか、又は少なかったためにその他の産地に含まれる)